

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公表番号】特表2007-518544(P2007-518544A)
 【公表日】平成19年7月12日(2007.7.12)
 【年通号数】公開・登録公報2007-026
 【出願番号】特願2006-551474(P2006-551474)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 16/00 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 P 25/08 (2006.01)
 A 6 1 F 7/00 (2006.01)
 A 6 1 M 16/10 (2006.01)
 A 6 1 M 16/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 16/00 3 7 5
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 P 25/08
 A 6 1 F 7/00 3 3 1 E
 A 6 1 M 16/10 Z
 A 6 1 M 16/12

【手続補正書】
 【提出日】平成20年1月28日(2008.1.28)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

呼吸ガス源、

熱を、該源からの呼吸ガス流と交換するように構成された熱交換器、

微細氷粒を呼吸ガス流中に導入するように構成された氷粒生成装置、および

微細氷粒を含む呼吸ガス流を患者に供給するように構成された呼吸インターフェイスを備えることを特徴とする治療的低体温誘導装置。

【請求項2】

前記呼吸ガス源は、機械式呼吸装置を含むことを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記呼吸ガス源は、環境空気を前記装置へ供給するように構成された機械式呼吸装置を含むことを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項4】

前記呼吸ガス源は、圧縮呼吸ガスの供給源を含むことを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項5】

前記圧縮呼吸ガスは、酸素およびヘリウムを含有する混合物を含むことを特徴とする請求項4に記載の装置。

【請求項6】

前記圧縮呼吸ガスは、酸素および六フッ化硫黄を含有する混合物を含むことを特徴とする

請求項 4 に記載の装置。

【請求項 7】

前記氷粒生成装置は、水源と、水の微細液滴を呼吸ガス流中に導入するための噴霧装置とを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 8】

前記氷粒生成装置は、食塩水源と、食塩水の微細液滴を呼吸ガス流中に導入するための噴霧装置とを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

前記噴霧装置は、超音波噴霧装置であることを特徴とする請求項 7 に記載の装置。

【請求項 10】

前記氷粒生成装置は、水を、噴霧前に冷却するための冷却装置を含むことを特徴とする請求項 7 に記載の装置。

【請求項 11】

前記熱交換器は、前記源からの呼吸ガス流を、選択的に冷却または加熱するように構成されたことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 12】

患者の体温を測定するための温度センサーを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 13】

患者の測定された体温に基づいて、前記装置の運転を制御するためのフィードバック制御装置を含むことを特徴とする請求項 12 に記載の装置。